

# KEK研究系技術職員 インターンシップ活動について

第25回 関東甲信越地区技術職員懇談会 2025年1月10日

高エネルギー加速器研究機構 技術職員インターンシップ委員会  
加速器研究施設 荒木栄

# なぜ、インターンシップを行うのか？

- 従来からの国立大学法人等職員採用試験では、就活が遅い！
- KEK独自採用試験を年度初頭（春）に行なっている
- 求人が集まりにくい！
- マッチングが難しい！
  
- さらに、KEK技術職員の**仕事の魅力を伝える**ことが必要
- 就職活動の説明会：必ずしも十分には伝わらない
  
- 現場で一緒に仕事を体験してもらう：仕事体験

# 職場体験を行うインターンシップの目的

- 技術職員の人としての魅力を伝える
- こんな**仲間と仕事したい**なと思ってもらえれば成功

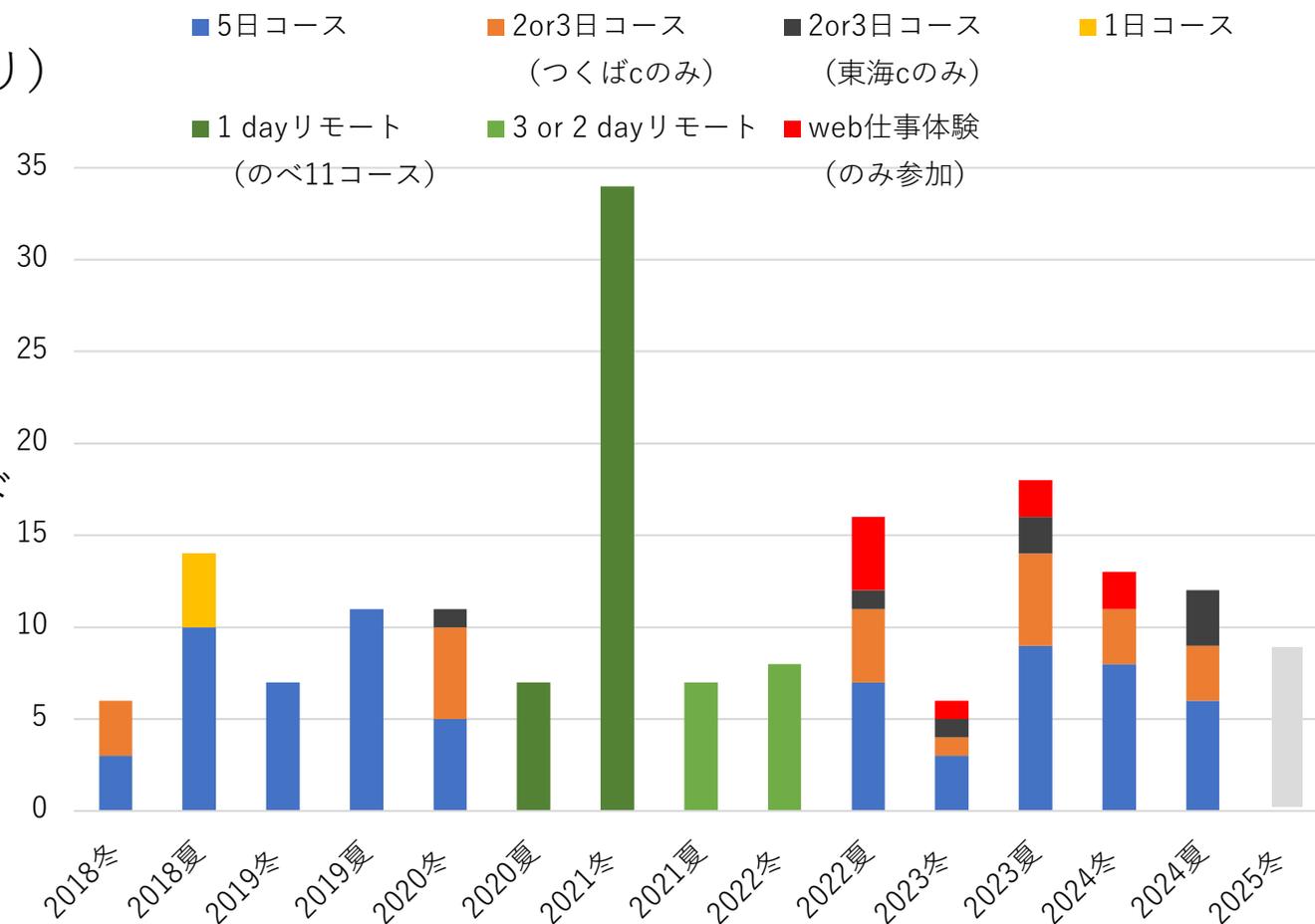
技術職員側は、

- どのように仕事を理解してもらうか、魅せらるか
- いろいろな背景をもつ参加者を相手に説明する
- アウトリーチ活動の良い実地経験
- KEKの**技術職員**として働く自分というものを、  
改めて**見つめることのできる良い機会**ともなっている。

# 1年間で何人が参加しているか？

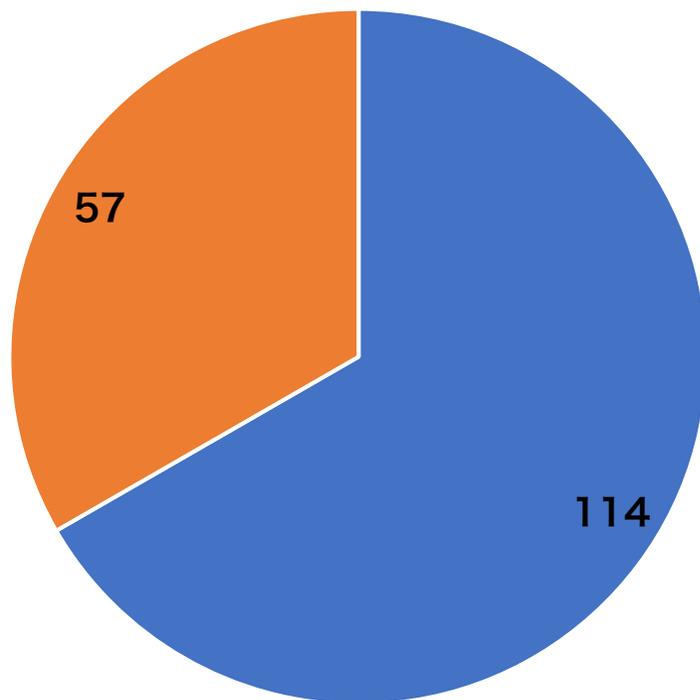
- 2017年度冬季から、インターンシップ開始
- 2024年夏季までに、**のべ 170人参加**（重複あり）
- 年間、約20人程度の参加  
（およそ10人／回）
- コロナ禍（COVID-19）2020年4月～2022年3月
- 2020年度、2021年度は、  
リモート・オンライン（Zoom）で対応
- 2022年度、2023年度は、  
オンラインとキャンパス体験のマルチスレッド
- 全体説明など、オリエンテーションは、予め、  
オンラインでWeb開催としている
- 単日～5日を選択して参加可能
- 今年度 2024年夏季から、  
Web仕事体験（オンライン）取りやめ  
－講師の都合上中止
- 現在、**2025年冬季インターンシップ募集中！**

## 各インターンシップの参加人数



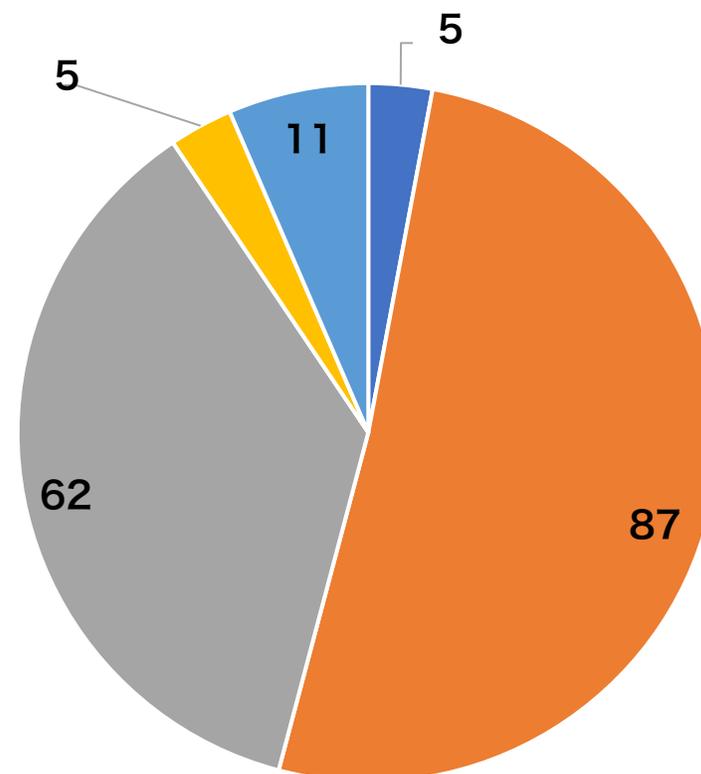
# どんな人が参加しているか？

男女の割合



■ 男性 ■ 女性

参加者の学歴



■ 博士 ■ 修士 ■ 学部 ■ 高専専攻科 ■ 高専

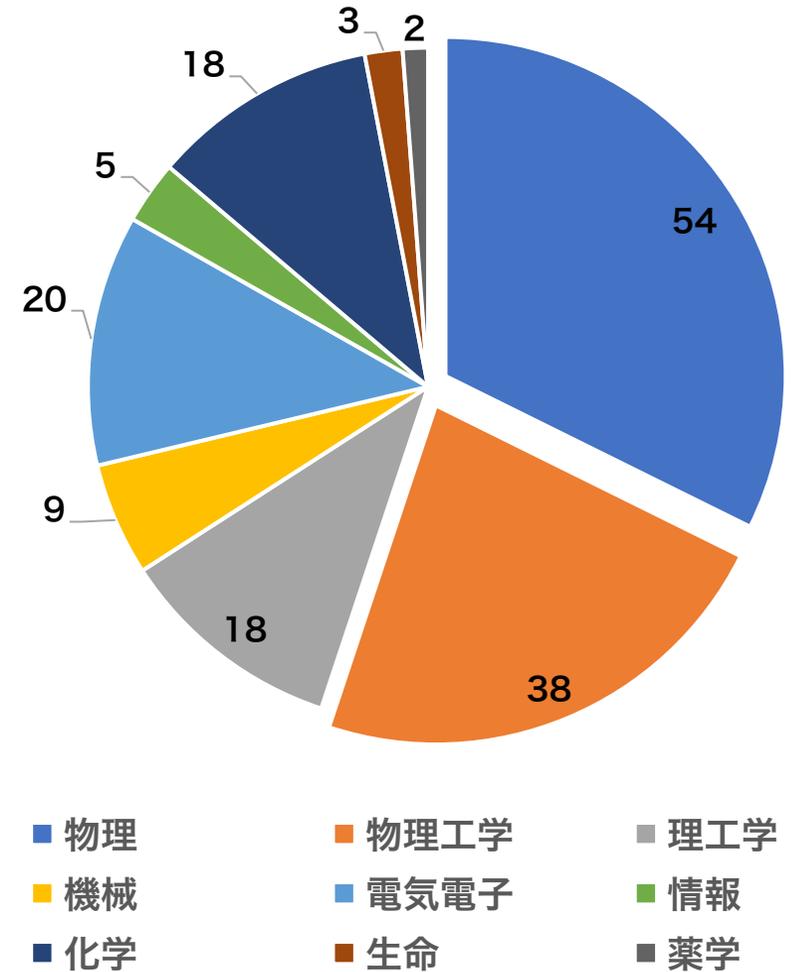
注) 重複参加も含まれており、必ずしも合計人数は一致してません

集計：2018年1月～2024年9月

# 参加者の専攻分野は？

- 物理系の学生が多い（およそ半数）
- 他分野関連への周知が足りない？
- KEKの知名度
- 宣伝活動が重要かも
- 研究者ではない、技術職員

参加者の専攻分野



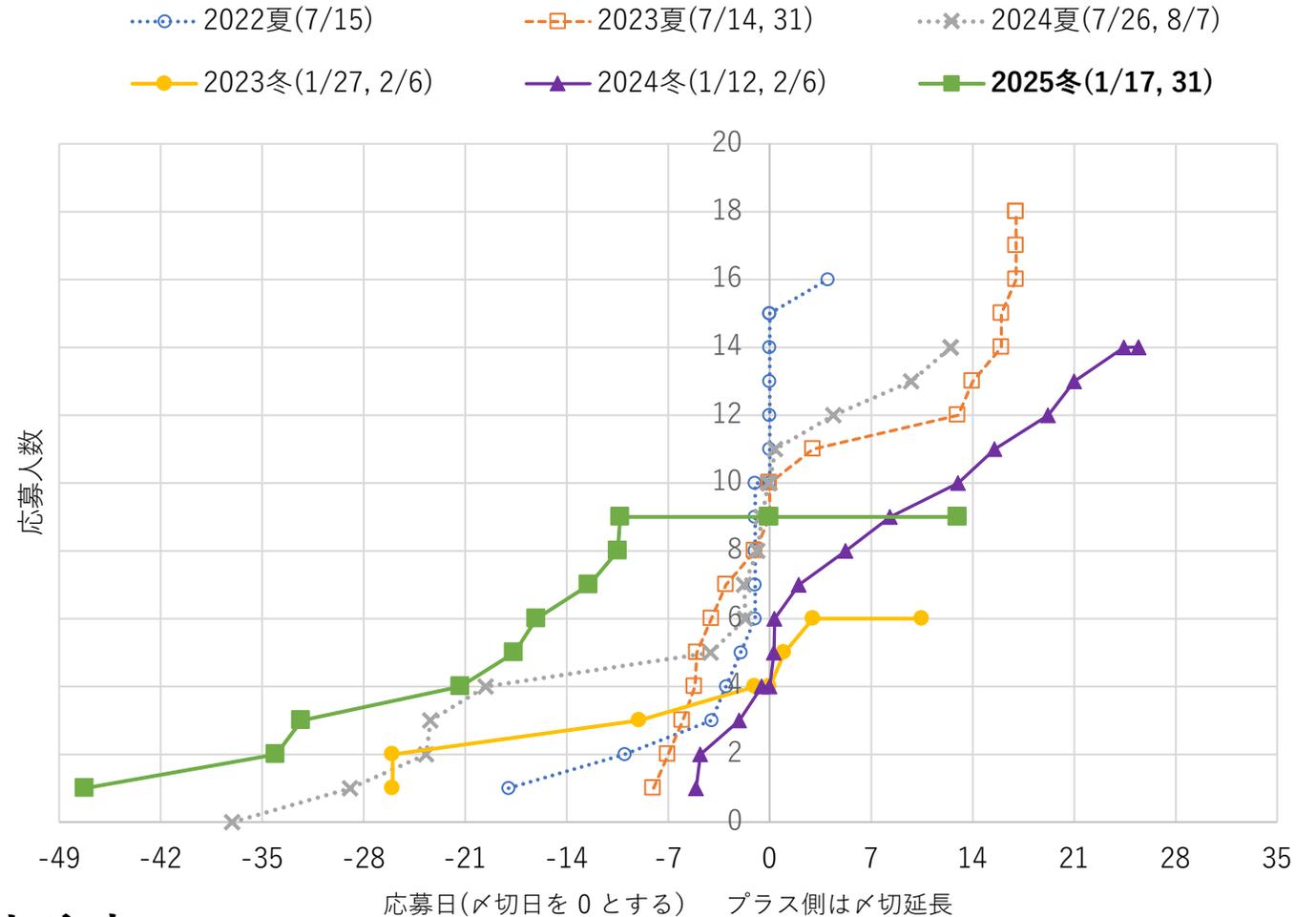
注) 重複参加も含まれており、必ずしも合計人数は一致してません

集計：2018年1月～2024年9月

# 募集期間は、どれくらい必要か？

- 開催日の約ひと月前に〆切日を設定  
(7月、1月の中旬)
- その前に募集要項を作成して、募集開始！  
(6月、12月中旬)
- 募集期間が短いと、周知が困難
- 各学会などで通知
- SNSなども活用
- 教員も含めて、後輩や出身校に宣伝活動
- 定員に満たない場合は、募集延長！  
(キャンパス体験の定員は、10名～15名)  
(リモート・オンライン体験は、定員なし)
- 方針や出し物を検討する時間が必要  
4～5ヶ月前から話し合わないと間に合わない  
(年度早々から委員会を始める)
- 募集開始から〆切まで、30日以上あると周知しやすい

## 参加応募数の推移



# インターンシップの準備

- 仕事体験の「募集要項」「応募用紙」→ 人事係：KEK求人情報より公募
- 人事係：E-mailで、添付書類を受付
- 委員会：
  - 受け入れ判断と追加連絡　：応募者とのやりとり
  - 体験コースや宿泊施設・日程確認して決定　：講師を含めて内部調整
  - コロナ禍においては、体調管理、検査キットの用意
- 体験コース
  - 各研究所・研究施設：コース提案、実施調整
  - 人手不足のグループは、積極的
  - 直近の公募が見込まれないグループは、消極的
  - オンライン研修は、準備が大変。模索しながら実施した
  - 複数回の開催で、内容も充実、体験指導者のレベルもアップ

# 日常業務じゃなく大変手間がかかる

DX推進：書類配布・連絡の簡略化

- 事前に各書類を作成は、大変
- 参加者との連絡と確認に、手間がかかる

## 電子化を進める：

- 技術部門HPにインターンシップページを開設：2023年冬季～  
<https://www2.kek.jp/engineer/tsukuba/intern/>
- 「仕事体験のしおり」をHPに切り替えた：臨時の修正が随時可能  
<https://www2.kek.jp/engineer/tsukuba/intern/202408shiori.html>
- アンケート書類もWebフォームを用意して、記入と回収後の分析の効率化も進めた
- 応募用紙（書類）から、応募フォームによる受付へ変更：2024年冬季～  
フォーム（Microsoft 365 Forms）から申し込み。データ処理。

# インターンシップ参加者から職員になった人

インターンシップ体験のち職員になった方からのご意見より

技術職員の仕事の魅力とは

- 自分の興味やスキルを活かして仕事ができる
- 最先端の技術開発に携わることができる
- 成長しながら仕事ができる

インターンシップが就職活動に役立った点

- 職場の雰囲気や仕事内容を理解できた
- 加速器業界の働き方のイメージが膨らんだ
- どのような仕事に就きたいかを明確にできた

インターンシップ時と着任後の印象差

- 思っていたより、働きやすい環境
- 印象に大きな違いがなかった
- 部局間の連携があんまり感じられない

2024年4月採用までに職員になった人  
延べ14名

- 多くはないが、広報活動でもあり、少ないとは思わない。
- 近年の配属5年以内の離職率は低くなっている（と思う：個人的感想）

# インターンシップ活動を通じて

- 委員会では、事前の準備期間から開催後のアンケート分析まで重要。
- 1年間を通しての活動が必要。
- 参加した学生に対して、
- KEKの技術職員の専門性とその仕事の魅力が概ね伝わった。
- 今後さらに多くの若い人に向けて、
- 研究系技術職員の仕事を、インターンシップに限定せず、広く発信できるように期待します。

— 今回「まとめ」は ありません —



インターンシップの注意点

# 仕事体験（インターンシップ）

－ 募集のHPなど －

溝端氏へ